

第2回耶馬溪作業部会議事録

開催日時: 令和8年8月3日 10時～11時30分

開催場所: 耶馬溪コミュニティセンター 集会室

参加者

グループ	1	2	3	4
人数	4名	3名	3名	3名

- あいさつ、アイスブレイク

事務局から、参加のお礼と前回の内容について説明があった。

その後、第1回と同じ4つのグループに分かれてアイスブレイクを行った。

- グループワーク①

第1回で出し合った「自分たちが住みたい地域」「地域に住む人が住みたい地域」の各アイデアを4つのテーマに分別した。

- グループワーク②

再度グループ分けを行い、参加者を4つのグループに分け、4つのテーマの中でさらに同じような内容にまとめた。

まとめ

- 地域が元気になるまち: このテーマでは、「活性化」「健康づくり」「環境」「食文化」等の8つのジャンルに分類した。単なる人口増加だけでは地域が活性化するわけではなく、若い人や3世代同居による関わりが重要であると指摘された。また、地域性を活かした農業などの仕事も活力の源になると説明した。
- 安心・安全のあるまち: このテーマでは、「防犯」「頼れる人」「環境整備」「見守りネットワーク」「防災に強いまち」の5項目が提示された。スマートフォン教室によるネット詐欺被害防止、文化を仲介し摩擦を調整するリーダーの必要性、バリアフリーや交通安全のための環境整備、そして災害リスクを考慮した集落の集約や防災時のネット回線強化が提案された。
- 暮らしを支えるサービスが充実したまち: このグループは、「医療・福祉」「食べる場所」「生活必需品の購入」「働く場所」「交通手段」「教育」「活動団体の継続」などの項目に分類された。特に生活必需品の購入ができる小規模な商業施設や、交通手段、若者が働く場所の確保に対する要望が多く寄せられた。
- つながり、支え合いのあるまち: このテーマでは、「情報」「思いやり」「交流の場」「集える場所」の4項目が提示された。情報提供の重要性や、1人暮らしの方や障害のある方への配慮について議論された。特に「集える場所」については、寄り合いの場や気軽に酒が飲める場所、空き家の有効活用などが提案された。

